

SDジンク 1500A

SD ZINC 1500A

一般名称	ジンクリッヂペイント(無機)									
適用規格	東京都建設局(平成31年度版) 503 ジンクリッヂペイント1種(無機)									
系統	アルキルシリケート樹脂無機質ジンクリッヂペイント(厚膜1液1粉末形)									
主な用途	【橋梁用】 など									
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート					
	○	×	×	×	×					
特長	1) 優れた防食性がある。 2) 耐水・耐海水・耐油・耐有機溶剤などの性能が優れている。 3) 耐熱性に優れ、常時400°Cまでの熱に耐える。 4) 1回で75 μm(スプレー塗り)の厚膜に塗装できる。									
塗料性状	塗料密度(比重)	2. 96								
	溶剤密度(比重)	0. 89								
	加熱残分	88%								
法令など	液		亜鉛末							
劇物表示 (品名・含有率)	—									
労安法上の 表示有害物	メタノール、イソプロピルアルコール									
使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等									
消防法による 危険物区分	第1石油類(水溶性)			非危険物						
硬化剤の成分 による区分	—									
ホルムアルデヒド 放散等級	—									
製品情報	液		亜鉛末							
荷姿	25kgセット	5kg	20kg							
混合比(重量比)	液:亜鉛末=20:80									
主な色(色相)	グレー N-50やや黒味近似									
※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。										
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清潔であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○ブラストにより、錆・ミルスケール・脆弱な塗膜は除去する。(ISO Sa2 1/2) 									
使用方法	調合方法	攪拌機を用いて、液に亜鉛末を徐々に加えて、十分に攪拌したのち使用する。								
熟成時間	不要	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。								
使用シンナー	標準: SDジンク1500シンナー (夏期またはダストの発生が多い場合はSDジンク1500シンナー遅乾形を使用してください。)									
希釈率(重量比)	エアレス: 0~10wt%	(弊社推奨値)								
エアレススプレー	2次圧	6MPa(60kg/cm ²)以上								
塗装条件	チップNo.	163-519~621								
(グラコ社製)										

SDジンク 1500A

SD ZINC 1500A

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量(注) g/m ² /回
	Dry(μm)	Wet(μm)	
エアレススプレー塗り	75	150	600
ハケ・ローラー塗り	—	—	—

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
乾燥時間	指触	2時間	1時間	30分	30分	20分	20分
	半硬化	8時間	6時間	6時間	3時間	1時間	1時間
標準塗装間隔(注)	最短	2日					
	最長	10日					
可使時間		8時間	8時間	8時間	6時間	6時間	6時間

注) 上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

塗装間隔は【鋼道路橋塗装・防食便覧 塗装編】による。

作業禁止条件 気温 0°C以下、湿度(RH%)50以下

主な適用 下塗塗料	強溶剤: SDジンク1000 弱溶剤: — ハイシリッド: — 水性: —
主な適用 上塗塗料	強溶剤: エポマリン下塗ミストコート用 弱溶剤: — ハイシリッド: — 水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 500°C耐用、長時間 400°C耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	60.1	1.7	
5	51.5	1.9	
10	45.1	2.2	

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】式または
 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
 ※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報	○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。 ○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。 ○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。
------	--

貯蔵条件	本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。 高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。
------	---

使用上の 注意事項	1)混合した塗料は60~100メッシュのフルイでろ過し、異物や固まりを除去してください。 2)密度の大きい垂鉛末を使用しているので、調合後や塗装中にも低速攪拌して沈降を防止してください。 3)スプレーで1回塗りが標準ですが、ハケ塗りのときは2回塗る必要があります。この場合は30分~2時間の間隔で塗り重ねてください。 4)SDジンク1000の上に塗り重ねる場合は、1週間以上塗装間隔をとり、2次素地調整をおこなってください。 5)この塗料は、溶剤の揮発で外観上硬化しますが、真の硬化は湿気と反応し、数週間にわたって徐々に進行します。したがって、促進硬化させたい場合は、周囲環境に水などを散布してください。 6)1回塗りで150~200μm以上の膜厚に塗装すると、ダレやワレ・ハガレが生ずることがあります。 7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
--------------	---